婦人と新社會

山田わか主筆

十一月號

勞働の道德化

世界を率いる新らしき指導者

異性を評價する標準

婦人會の收獲

切符に映る社會相

―編輯の後―

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和三年十月二十三日印刷納本

昭和三年十一月一日發行　第百〇四號　毎月一回一日發行

東京 婦人と新社會社發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山田わか女史著

現代婦人の思想とその生活

四六判五百餘頁
定價貳圓八拾錢
送料拾四錢

現代婦人の思想とその生活について、從來發表された、また現に發表されつゝある山田女史の評論は、すべて本書にまとめられ組織立てられてゐます。女史の優れた人格と思想については、夙に皆樣さまご存知のことですが、母性愛の貴い創造力、その貴い創造力にもとづく婦人の使命について、婦人自らの自覺を促がし、婦人のこの使命に對する正しい理解を男子に要求するために、女史はたゆみなき努力をつゞけてゐられます。婦人の覺醒運動のために、街頭に立てる所謂先覺婦人と稱せられる人達は、決して少くはないやうです。しかし、山田女史のやうに、豐富な學殖と眞實な體驗によつて組織された思想から、すべてを力强く批判し生活しようとされてゐる人達は、まことに稀なやうです。それ故、女史の一言一句は、さながら預言者の獅子吼のやうに貴く響きます。現代の女性並びに男性が、女史のこの獅子吼に目ざまされること一日速やかであればあるだけ、お互の家庭に社會に、美しい輝やかしい平和と幸福がおとづれることもまた速やかであらうと思ひます

昭和婦人讀本 處女篇

定價壹圓
送料拾錢

昭和婦人讀本 家庭篇

定價壹圓
送料拾錢

處女篇は高女卒業前後のお孃さん達に、家庭篇は結婚前後のお孃さん、奥さん達にぜひご一讀をおすすめします。そしてまた、女性の感情とその使命に正しき理解をもたるべく一般の男性もぜひご一讀の必要があります。

東京牛込區赤城元町
株式會社 文教書院
振替東京四四三五三

勞働の道德化

現代の經濟學は、もう狹い意味の富を論ずるだけでは足りなくなつて來てゐます。卽ち、勞働者、資本家、及び、消費者の全人格を富の中へ入れて論じなければならなくなつて來ました云ひかへれば經濟學と倫理學が非常に接近して來たのです。否、接近處ではない、倫理と經濟が聯合しなければ解決出來ない、諸問題がぞく〳〵と起つてゐるのです。

産業への奉仕としての人格は如何なる位置を保つてゐるか、其の人格に對する報酬は何であるかと云ふ事が、單なる富の生産高以上に考へられねばならぬ時が來たのです。

其處で、人格が既でに生産に加はり勞働となつて現はれるとすると、勞働は、もう物品として賣買出來るものではないと云ふ事になつて來ます。勿論、勞働者が全く機械化してしまつて云ひかへれば、自分の人格を自分の勞働に打ちこまないで、勞働を單なる賃銀の對照として考へてゐる間は勞働は商品に過ぎないのです。

自分の全人格を自分の仕事に打ちこんで、つまり、誠心誠意自分の仕事に忠實である人の勞働は尊敬され、決して、商品として扱はなかつたのは昔も今も變りはありません。けれども、勞働者が自分の人格と勞働とを別々に考へて、唯、機械的に勞働をしてゐるのでは、其の勞働はどうしても商品と見られねばなりません。そして、勞働が商品と見られる結果は需用供給の原則によつて律せられて、勞働の供給が過度な

ら、勞働の價が安くなつても仕方がありません。勞働者は商品である以上は其の勞働が安く買はれて、そして、高い生活資料を賣られて、そして資本家の懐計りをこやされても其れに對して勞働者は一言も云ふ事は出來ません。

此の道理をわきまへる事なく、唯、勞働者の位置を資本家の位置とかへ今迄資本家が壟斷してゐた利益を勞働者が獲得しようとして、所謂自覺したと自稱する各國の現代人は盛んに社會諸問題を引き起して騷いでゐます。けれども、これは、各國の本當の順當の進歩を妨げるものです。先づ、假りに、勞働者の主張が成功して彼等の主張が實行されて産業のデモクラシーが出來たとしても勞働と人格が別々になつてゐる間は、そして、勞働が依然と物品である間は資本主義の下に起つた諸問題が、又、産業デモクラシーの下にも起るに相違ありません。

○

政治上の問題にしても同じ事です。選擧權を一ツの商品と見てゐる間は、即ち、人格と選擧とを別々にしてゐる間は、云ひかへれば、自分の良心、即ち、政治的の良心の命令によつて投票せず、もう一度云ひかへれば、選擧を義務と心得ずに一種の物品の所有權と心得て賣買してゐる間は、或ひは感情に選擧が弄ばれてゐる間は、本當の民主政治が、到底實現出來るものではありません。

國際勞働會議の規約の第一條『勞働は商品に非ず』も、勞働者が自分の勞働を商品でないものにして、始めて有効な生きた一條項となりますが、勞働者が依然と勞働と人格を一致させない間は、其れは純然たる商品ですから、需用供給の鐵則の下に處置されて、國際勞働會議の其の規約は結局空文に終つてしまはなければなり

ません。

さて、其處で、勞働を人格化すると云ふ事はそんならばどう云ふ事であろうかと云ふに付いて、其れを說明するには、先づ人類社會に於ける勞働の位置を決定しなければならないでせう其れが決定されると同時に一個人の社會に對する義務が自ら明らかになつて來ます。そして、其の義務を正當に果すものは生活の保證を受ける權利がある事が明瞭になります。

一國の生存條件として產業が生れました。そして、其の產業に於ては、人々の能力の差が別々な働きをなし、換言すれば、適所に適材と云ふ法則が行はれて、遂ひには、今日の狀態に迄產業は發達して來ました。けれども、自然が人間に與へる物資は常に有限でありますのに、人間の欲望は常に無限でありますから、此處に利己主義本位の競爭が始まりました。そして、遂ひには產業の社會的意義が全く忘れられて、人は他人を利用して己れの利益を占むるのが產業の目的であるように心得るようになりました。

今の勞働者煽動家は前述のような利己主義を持つてゐるのは資本家計りであるように云つてゐるのですが、決して、さうではなく、勞働者も其れと同じような、或ひは其れ以上の利己主義者である事を彼等は忘れてゐます。ですからこのまゝでどんなに產業の組織を變へた處が社會が改善されるわけがありません。これは社會學的產業から出立した產業組織の改造でなければ、到底各人に滿足を與へるような解決は出來ません。

○

自然はあらゆる生あるものゝうちに生理的生殖のメキヤニズムを組織致しました。そして、草、木から動物、動物から人間をつらぬいて恰

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

も電線を引いたようにして其の力を働かせてゐます。生殖慾と云ふ電流は其の電線を傳はつてあらゆる地上の生命を維持してゐます。ですから、社會の存在には此の生殖力が根本の要素であります。此の力を無視して進化の過程を解釋しようと試みても其れは、到底、不可能です。そして、最も高尚なかたちの生殖、つまり人間の生殖は家庭が本元です。そして此の家庭は愛によつて造られるのです。

此の愛は共同を生みます。共同は力を意味し力は富を意味し、富は餘裕を意味します。そして、餘裕は藝術と文化と更新と教育を意味します。そして、これは、利他主義、卽ち、愛の賜です。これ等のもの計りでなく、これ等のものに伴ふ溫き感情の普及、向上、理想、幸福、善、そして、より善きものを信ずる信仰、これ等は、皆、愛、卽ち、利他主義の世界に於て見

られるものなのです。これ等のものは個人主義的には既でに一部の人々によつて享有されてゐました。けれども、これを社會化しなければならないのです。これを社會化する事によつて利己主義本位の產業が利他主義本位の產業にかはる事が出來るのです。そしてこれが產業改造の目的なのであります。

人間の進化の過程中、子供が生れると云ふ事實より大きな事實はありません。子供が生れると同時に此の世界のうちに一つの條件が必要になつて來ます。そして、其れは生れた子の向上と云ふ事であります。そして、其の子供の向上には愛と云ふ乳が必要です。子供に愛を敎へる事、つまり、利他主義の本能を植へ付ける事が社會改良の第一歩です。そして、其れは、先づ母の仕事ですが、併し、深い意味に於て考へて見ますと、母が子に愛を敎へるのが先きでなく

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、子供が母に愛を教へるのが先きになつてゐます。

子に愛を教へられた何百萬人の母が既でに此の世界に生存して居ます。併しながら、其れは本當の高尙な愛に迄進化しませんでした。少なくとも、其の愛は未だ社會化しなかつたのです。云ひかへれば、母親らしい愛情、寛大、他愛主義、自己犠牲などが、社會から見れば、未だ、萌であつて充分に發達してゐなかつたのです。ですから、マタニテー(生理的母)は既でに既でに存在してゐたにも拘らずマザーフツド、(倫理的母)は未だ存在してゐなかつたのです。そして、此のマザーフツド其れ自身もマザーフツドと云ふ言葉のうちに含まれてゐる一切を造るになくてならぬものは子供です。子供が母に其れを教へます。そして、凡ての此の仕事をなす處は家庭です。

ですから、各人が健全な家庭を造り得ると云ふ事があらゆる問題を解決する基礎となるのです。が、どうすれば各人が健全なる家庭を造り得るでせうか? 其れには、勿論外にも重大なる要素がありますが、健全なる家庭を造るには矢張り、經濟上の基礎が確かでなければなりません。そして、生産階級者にとつては、其れは矢張り、勞働の報酬であります。けれども、唯單に勞働に對する報酬とすると、それは、又今迄通りの利己主義的競爭、勞働を商品視することを繰り返へさなければなりません。

○

で、これを防止する一策としては、先づ、家庭を基礎とした生活賃銀(曾て私が提唱した家庭賃銀のことです。)の要求であります。生活賃銀は必要の原則から出立しなければなりません佛蘭西の初期の社會黨の多くは『各人が各人の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

力に從つて、各人の必要に從つて各人から各人に迄。』と云ふやうな分配の方式を造りました。そして、獨逸の社會黨は一八七五年、ゴタムプログラムのうちに其の方式を承認してゐます。

けれども、社會黨は現在に於て其れが實行出來るとは思つてゐません。併し、未來に於ては其れは實現しなければならないと思つてゐるやうです。とは云へ、其れを實行するのはなかなか困難であるに相違ありません。人間の利己主義と懶惰な性質が擦消されてしまはないうちは前述の方式は實行し難いものでせう。この分配法の原則は各人の努力や、又、各人が生產した富の高には無關係に、唯、各人の必要と慾望に從つて分配するのですが、今日の人間に其れが公平に行はれようとはどうしても思はれません。又、男、女、子供から成り立つてゐる各家庭の別々な必要を正確に計るのも隨分困難な事でせう。もし、又、各家庭の必要が正確に計算され其れが分配局に認められたとしても、社會の富がいつでも公平に凡てに供給し得るだけ充分であるかどうかも疑問です。又、其處に不公平な情實が起ると云ふ事も餘まりに明白です。

必要と云ふ事を基礎にした此の標準は社會主義の法則と云ふよりも、むしろ、共產主義の標準として見るべきものです。これは共同生活、共同所有、及び、消費の家長主義的監督、並びに、產業の集合的經營を意味してゐます。

此の必要を基礎とした方式は、分配的正義の完全なるものではありませんが、併し、一部の標準としては有効なものであります。此の方式は二つの意味に於て一部分の正義のはかりにはなつてゐます。其の一ッは、此の方式は勞働者の生產や勞働者の苦痛を標準とした原則とも矛盾しませんし、又、二ッには、其れは生活の根

本必要品に限る分配であつて、人間のあらゆる慾望にあてはめるものでは無いのですから。ですから、此の方式は正當な生活の最少限度の要求を守る事は出來ます。賃銀正義の最少限度の標準にはなります。

人間の此の必要と云ふ事は物資に對する第一の請求權であります。實は、生産力、努力、犧牲、賣買、贈與などは所有權に對する根本の理由ではありません。これ等の條件を正當とするには必要の存在を先きに認めて置かなければならないのです。もし人間が物資を必要としないならば、其の必要でもないものに對して、今擧げたような條件のもとに、其れを請求する權利はない筈です。第一に必要の事實が權利を造るのです。そして、第二には、其の必要が最も便宜に供給されねばならないのです。併し、此處に注意を要する點は、此の必要と云ふ事は富を得たいと云ふ單なる生理學上の理由や行動からではなく、それは道德上の權利でなければなりません。或る分量の物質に對する人間の請求權を道理化したものでなければなりません。

○

其處で、此の賃銀正義の一部の原則として必要を合理化するには、宇宙に於ける人間の位置に關する三つの根本原則に立脚しなければなりません。

其の第一は、此の宇宙は人間を維持する物資の倉庫でありますから、凡ての人間は此の自然の賜に對して平等に請求する權利を持つて居ます。

第二、此の地球上の富源を正當に請求する權利を持つためには有益な勞働に從事しなければならないと云ふ條件が付いてゐます。此の條件を果す事によつて其の請求權が始めて合法にな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ります。それから、此の第一第二の原則が第三の原則となります。

第三、有產者は、無產者の生活を理由なくして苦しめないように、其の富を利用しなければなりません。

無產階級の生活を得る機會を困難ならしむるような社會は、有產階級が何等理由なくして、人を牢獄に投ずるよりも以上に人權を蹂躙するものであります。無產階級が生活を得ると云ふ此の請求は經濟的と云ふよりも、むしろ、道德的の要求であつて社會は此の要求を正當に滿足させ得る事によつて、始めて健全な社會なのです。

ですから、喜んで働く人は又正當な報酬を得る事は當然ですが、併し、そうは云つても誰もが同じ收入を得る權利を持つてゐると云ふのではありません。人間の慾望は必要品以外のものに對してもあります。そして、必要品以外の物資分配の方法には、必要品分配の方法と勞働を得る機會の分配とを參酌しなければなりません

併し、そうは云ふもの各人が正當に働く以上は、又正當な生活を保證する富の分配がなければなりません。云ひかへれば、人はデイセントな生活をする權利を持つてゐるのです。

未だ、猶、評論したいのですが紙數がありませんから、結論を急ぎますが、今迄私がお話しようとした事をかいつまんで云へば、第一、經濟的分配の方面に於て完全な正義を決定する事は非常に困難な問題でありますが、先づ、其のうちで最も重用なものは、勞働者の必要、熟練を要する仕事に對する準備の費用、有益なる商業企業の危險に對する報酬、勞働者の個人的能力の比例、仕事の不愉快の程度、土地、それから、資本と云ふような順序になります。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

生活賃銀の原則を一般に適用する事は産業、及び、社會狀態を改善するに大いに資する處あると私は信じます。生活賃銀の原則を一般に行う事は産業改革の如何なる方法よりも必ず大きな効果が得られると思ひます。なぜなれば、其れは産業に新しい精神を入れる事になります。新しい精神の根據が出來る事になります。なぜなら、生活賃銀は利己主義の力を利他主義の力に變へる力を持つてゐます。そして、其處に、勞働に人格と云ふ基礎が入る事になるのです。

さうなれば、如何なる種類の勞働でも其處には人格と云ふ要素が入つてゐますから、もう商品ではありません。そして、勞働の道德的要素は時間の無駄をはぶくようになり、智力の增進となります。從つて、能率を增します。能率の增進は、又、更に時間の短縮となり、時間の短縮は家庭の向上となり、家庭の向上は優れた社會、優れた次代を造り、かくして、私共は理想的關係に迄進む事が出來るのです。

世界を率いる新らしき指導者

印刷の發明は人類に新しい力を注いだ。印刷術の廣大無邊の價値は到底言葉をもつて言ひ表はすことは出來ない。これが發明されて以來は或る意味に於て世界を支配するものは腕力或ひは金力ではなく腦髓であり、體力的勇士ではなく思想家であり、王將ではなく書物となつた。

脳髄で鍜へ上げた鋭利なる武器が劍や斧に取つて代つた。世界の戰爭は砲火相交ゆると云ふ性質のものよりは、むしろ思想と思想の戰爭となつた。世界中の知力から踊り出した思想は燃ゆるが如き不滅の生命をもつて世界を率いる指導者となつた。昔は偉人や善人の感化を受くる者はそれ等の偉人や善人に接する人々に限られて居たが今は印刷といふ魔術的の力によつて、それ等の思想は無數の傳書鳩が放たれたやうに至る處に送られる。

　大思想家の精神から迸ばしり出る新鮮にして輝く言葉は火花のやうに飛び散つて同じ精神の持主の心に觸れて行く。その言葉は最早距離に妨げられることもなく、又、紙に書かれたまゝ朽ち埋もれることもなく永久に續く文字となつて凡ゆる時代の人の心を勵まし、强め、そして明るくする。

力と正義との間に、重い腕力と輕い思想の間に、在りし處のものと在らねばならぬ處のものとの間に致命的爭ひがあつた。思想界を貫く大道を持ち、人の精神を領土とする偉人の魂は牢獄に監禁もされず、大海にも遮へぎられず又迫害にも抑へられない。

　實に印刷と云ふ大發明が心と心とを分離する障壁を跳び越え橋をかける時に、その結果として、人類の幸不幸を考へるものは何んであらうか。それは書物である。時代といふ大海に建設された燈臺即ち書物である。書物は天才の思想と創造の貴重なる倉庫である。天才の力に依て過去の時代は現代となり、壯嚴且つ美麗なる世界の歴史は厳かなる行進曲となつて我々の目前に動いて居る。そして、それは貧者無學者の差別なく如何なる家をも訪れる。最も貴きものが最も安價に與へられるのは書物である。最も貴き

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

精神をもち、最も高尚にして恍惚たる地域を我々は歩むことができる。そして、その地域はその形に於いて、色に於いて凡ゆる人に美しい。

過去の時代のすさまじい戰ひも我々の乞ひに應じては小さい室內にその場面を活躍させる。室內に居て地球の端から端迄徘徊も出來、不思議な美人の群の住む國へも、天女が讃美歌を合唱する樂園へも舞ひ上ることができる。科學、藝術、哲學、文學は皆人の考へたものであり人が完成したものであり、長年の苦勞をもつて購つた經驗である。それを出版界は我々の爲に貯藏して呉れた。我々は眞理の中に實體の中に思想の王冠を着けて進むのである。我々の心は自由にさまよい、自由に發言する。この人生に於いては道理を拘束する何等の境壁はない。因襲の石のような固い殼も淡き霧の如くに消え失せる。我々はものを呼ぶにその正しき名をもつてする。我々は我々の心に僞りを語らない。我々は只偉大さと善の前にのみ頭を下げる。我々は賤しむべきものを賤しみ敬ふべきものを敬ふ。讀書界に於ては如何なる神も單なる權力を護らず、如何なる階級も文育漢を貴まず、惡漢を保護しない。故にこの世界に於てのみ我々の感情は自由に活躍する。

我々は大天才の中から友を撰び得る、彼等は我々が貧困であり病弱であるの故をもつて見捨てはせぬ。凡ゆるものが幻滅せる時、富は無くなり、友には背かれ、健康には見捨てられ、この形に現れた大世界が方便そのものに見え、そして、凡て我々の現世の望みや願ひが無そのものになつた時、なほ我々に生氣を與へ我々に慰藉を與へる友がある。その友の不朽の容貌はいつも書物の中より我々を眺めて居て、我々の貧困をも、つまらぬ生涯をもその王らしき態度を

もつて高貴にして呉れる、その友は淋しき荒野に、宮殿にも勝る光輝を添へるであらう。その友は悲しみをも苦痛をも取り除いて呉れる。そして、自分の經驗から他人の病的精神を癒し、疲れた腦髓に生氣を與へて呉れる。ミルトンは云つて居る。「人を殺す者は神の合理的創造物を殺す者である。併し、善書を破る者は道理その

ものを破壊する者である、いはゞ、瞳の中の神の形像を殺すものである。多くの人はこの地上に於て義務を負ふて居る。併し、善書は偉人の貴き魂を擔ふて居る。次から次の生命の爲に保存し蓄へられた貴き魂を擔ふて居る！」

（或る日の讀書より）

異性を評價する標準

或る會で同席した中年の學者は「十六年間米國に滯在して歸朝してから八年になるが、まだ、日本にピッタリ眼が落ち付かない、日本に於ける嫌やなものばかりが目について、米國での簡易だつた生活が慕しくて仕方がない」と歎息をもらしました。

「日本へ御歸へりになつて一番嫌やなものは何ですか？」と私はたづねました。

「それは日本の婦人に接した時です。日本の女は嫌やだなアと思ふんです」と云ふ言葉に私は、これは一大事、と思つて

「日本の女のどう云ふ點が御嫌やなんです。虚飾虚榮のかたまりであるかのような點なんですか？」と問ふ私は、自分が歸朝當時、舊い型の婦人達のからおせじや虚禮に惱まされたことを回顧したのでした。が、

彼は『そうですな、あまりにインテレクチュールでない點ですな。どうも、聰明なハキ〳〵した米國婦人が目の底にこびり付いてゐるものですから』

と云はれましたので、私は『あなたの周圍の婦人を標準にして日本婦人全體の價値をお定めになつては困ります。日本婦人のうちにも、殊に、今日に於ては、隨分インテレクチュアルな方もあるし、虚飾虚榮を全然投げ捨てゝしまつてゐるような婦人もありますからどうぞ、さう云ふ婦人のグループへも時々御出かけになつて見て、そして、あなたの日本婦人觀を變へて下さい』と頼みました。そして、彼はすなほに『さうして見ませう』と誓つて呉れるのでした。

　本當に、止むを得ないことゝは云ひながら、男でも女でも自分に最も近い異性を標準として全體としての異性の價値を定めてしまふのが普通ですが、これは、大いに愼しまなければならないと思ひます。

　この頃、ムツソリーニが婦人參政觀を發表して、隨分女性をこき下してゐますけれども、あれを讀んだ私達は痛い處を突かれたと思ふよりも、ムツソリーニの眼界の狹いことを思ふだけです。彼の目玉は隨分ギラ〳〵光つてはゐるが、併し、案外小さいものだと思ふだけです。

　殊に、ナポレオンの女性觀などをひつぱり出したつて、私達は唯おかしく思ふだけで少しも恐れません。なぜなら、二世紀も前の女性を標準に云つたナポレオンの言葉を現代の女性に當てはめようとすることは何としても滑稽ではありませんか。

婦人會の收穫

ロングフェローの傑作『エヴァンジェリン』を讀めば誰でも其の人情美に心を打たれずには居られないの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ですが、此の一篇の物語のうちの地方色で特に私共の胸に深い印象を殘すものはエヴァンジェリンを生み育てた平和な農村の光景であります。善いにつけ、惡いにつけ、村民が皆手を取り合つて、共に樂しみ共に悲しんでゐます。

この涙ぐましいような親しみ深い、懐しみ多い生活は農村に於てのみ可能であるように考へてゐたのは恐らく私ばかりではないと思ひます。農村の生活は隣人同志ばかりでなく、一村こぞつて友人であり緣者であるような氣持ちであるに引きかへて、都會の生活は所謂向ふ三軒兩隣の人々とさへ少しも親しみがない。一間と離れてゐないお隣の人が何者であるかさへ知らずに日々を送つてゐると云ふような、まことに冷ややかな、たとへて云へば、都會の生活は石の上の生活であると云ふように私は今まで考へてゐました。

けれども、この度、全區を一丸とした四谷婦人會を造つたことによつて、都會生活に對する私の觀念が全然變り、同時に私は大きな喜びに滿たされてゐます。都會だからと云つても、やはり、私達と同じような血も

あり涙もある人が住んでゐるのです。が、唯、心を打ち割つて接近する機會が無かつたのに過ぎないのです接近する時には、多くの場合ひ、ものを賣買するとか、その外、それに似かよつた交渉がある時で、つまり、物質的の利害が伴ふ場合に於てゞありますから、其處に人情の現れる餘地が無いのです。(どう云ふ場合の接觸であれ、たとへば、ものを賣買する場合にでも其處に人情美が現はれるのが社會主活云ひかへれば共同生活の理想ですが)

處が、婦人會は區内の血もあり涙もある婦人達に手と手を握ぎらせたのみならず、社會事業に心を燃やしてゐる人、特種な研究家、篤實な人、知識のひらめきを持つ現代的な主婦達などを見出しました。

さう云ふ方達と本當に心を打ち明け、打ちとけて語り合ひ、主婦達の向上の道を相はかると云ふことは何と云ふ幸福であるでせう。

人情味を缺いた冷やゝかな生活も、又、親しみある暖かな生活も、それは、決して、土地其のものに附着してゐるのでなく、人間自身にあるのですから、人間

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

自身が其のつもりになりさへすれば都會でも暖い住みよい場所になる、お互ひの理解が深いだけに田舍の生活よりも一層親密にお互ひの心を投げかけ合ふことが出來ます。これだけでも、婦人會の大きな收獲であるに相違ありません。

切符に映る社會相

花柳地を三ヶ所、所謂貧民窟を三つ持つてゐて、學校は小學校以上のものが一つもない四谷區に二葉保育園が存在してゐて、過去二十九年の久しい間不幸な隣人のために又不遇な母と子のために不斷の熱誠をもつて力を盡して居られることは、實に、四谷區のためには貴い、實に、これは區民向上の源泉であると云ふべきだと思ふのですが、この二葉保育園がこの度區内元町本園の方を改築擴張せられるのに、その費用に尚數千圓の不足ありと聞いて四谷婦人會は此の貴き社會事業機關の多年の御努力に對して尊敬と感謝の念を表すために、來る十月二十七日、日本青年館に『映畫と舞踊の會』を催し、その純益の全部を同園へ提供しようと云ふことになつて、今、婦人會幹部一同切符賣りに大車輪の活動振りを示してゐます。

私共の近隣に住む或る寡婦、幼兒四人抱へて、稼ぎに出ることも出來ず、日に〳〵すさんで行く其の生活は近隣の心ある者の胸を痛めて止まなかつたのですが此の頃此の憐れな一家族が同園へ收容されたので私共近隣の者は一同胸を撫で下したのでした。

こう云ふ事實を見るに付けても同園の苦しい經濟狀態を見て見ぬふりをしてゐることは出來ない、區民の苦痛となるものを一手に引き受けて處置される同園の仕事を了解せず、援助しようともしない者は實に時代後れも甚しい、社會生活云ひかへれば共同生活を少し

も理解することが出來ない非文明人だと云はなければならないと思ひます。

だが、その非文明人が此の大都會、此の大東京にも決して少なくないらしいことが賣ろうとする切符を通して私共に明らかになつて來たことは誠に悲しむべき事實です。

婦人會の今度の活動に對する區婦人の苦情の私の耳に屆いた處を二つばかり上げて見ますと「四谷婦人會は出來たかと思ふともう切符なんか賣りに來た」と、まるで、婦人會が私慾のために押し賣りでもするかのように云ふのはまだしも、「二葉保育園の建築場を見に行つて來たが、婦人會の人が云ふ程金がかゝりはしない。保育園をだしにして金を儲けるつもりだらう」は實に何とも云ふべき言葉が見出せません。

婦人會は有產者に、男子なら一杯の酒乃至美食の一皿、婦人なら一かけの半襟を此の社會事業にお向け頂きたいと思ひまして、「御願ひ」の手紙を添へて切符を三枚(一枚一圓)づゝ全部で約二千枚、郵送して見ました。郵送後一週間の只今(十月十八日)返送されたのは

約半分であるのは止むを得ないとして、中には「映畫と舞踊會」の切符御送付の處都合により頂戴致し難く又わざ〳〵御返送も致さず候間何時にても御出向き御請取下され度候但し貴會員たる相當の證明御持參下され度候如くの如きことは甚だ迷惑に候間自今御注意下され度候」と云ふ端書があります。又、「お前達」のしてゐることはユスリと同一だと御叱りになつた方もあります。

實は、「御願ひ」の手紙には此の會を催す理由を書き幹部一同の名を連られ、終りに、御買上げが願へなかつた場合には御返送が願ひたいこと、又、御返送が無い時には集金人を差し上げることを附記したのは一見不穩當のようではありますが、併し、主催者の方ではどの位ひ買つて頂けるものか開會前にほゞ見當を付けて置かなければなりませんので、もし、郵送の分が全然駄目なら、又、外の方法を取らなければならないので、少々失禮とは思ひながらも其れを附記して置いたのでした。お互ひの便宜のため、殊に私利のためではなく社會事業のためなのですから其のへんのことは御

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

了解、御許しが願へると思つたのでした。

その方の御言葉は『勝手に切符を送りつけて買はない場合には返送の手數をかけるなどはユスリと同一のなされ方誠にもつて感心不仕候、旅行でもして居たらどうなさります』でありますが、併し、御返送なく御買上げかと思つてゐて集金人を差し上げて、それが御買上げで無かつたからと云つて其れまでのこと、何でもお金を下さいと云ふのではない。唯、都合上、さう書いたのであると云ふことは常識で分ると思ひます。

だが、今や、我が國は危險思想の蔓延に脅やかされてゐます。思想困難の時に到達してゐます。生活の窮迫は一部の民衆をして死物狂ひの狀態に陷らしめようとしてゐます。

此の危機、此の困難に際して我が四谷婦人會は、一部の民衆の死物狂ひの大詰めに到達しないうちに、危機を救ふ緩和策の一端として、せめて、熱誠こもる貴き社會事業機關二葉保育園を些かなりとも援助しようとするのです。

思想の混亂極はまりなき現代に於て最も必要なる社會事業の精神を解せず、救済事業のための一本の手紙を返送する手數さへも惜しむような有產者があればこそ、一部の民衆の思想はどん〳〵赤化して行く。赤化して行くものが非國民であると同樣に、彼等を赤化せしむるものも亦非國民であります。

併しながら、かくの如き非國民の存在は、唯一小部分であつて、大體に於ては皆國を思ふ、貧民の存在を忘れない愛國者であると云ふ事實が發送されてある切符に徐々と映つて來るであらうことを私はひたすらに冀つて居ります。

編輯の後

中央線大井驛から岩村町行きの電車は、水晶のような水が岩に碎けたり、サラ〳〵と流れたりしてゐる川の土手の上、三分の紅葉に色どられた折り重さなる山々の間を縫ふてグン〳〵山の奥へ〳〵と突き進んで行きます。岩村町は下田歌子先生の御出生地と聞いた私は、天童ともおぼしき氣高くも美しき少女時代の先生が此の山の間をどう云ふ御姿で御通りになつたかと云

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふことをいろ〳〵に想像すること暫くでありました。

山がだん〳〵深くなつて行く時にはどんな深山に這入り込むのかと云ふような感じが致しますが、やがては、その山々の襞を通りぬけて、電車は黄金色の穗を浪立たせてゐる水田や桑畑の間を走ります。そして、岩村町へ着きます。

夕方着いて講演をして翌朝は名古屋へ行かなければならなかつた一晩の滯在で委しいことは分りませんがとにかく、町内の八百戸の主婦の全部が婦人會員であること、講演會には、そのうちの六百人もがあつまつたと云ふことはこの町の婦人達の意志が如何によく統一されてあるかと云ふことの證據であります。

この町の女學校の校長さんは婦人であられるし、又、小學校は模範小學校と稱せられてゐることを見ても如何に新進の氣が漲つてゐるかゞ窺はれます。

進歩は運動です。運動には熱が必要です。そして、その熱は多くの人の意志が一つになる、つまり、團結によつて生じます。

婦人參政權は、とにかく婦人の公民權は既でに目睫に迫まつてゐる今日、婦人達の意志の疏通を計り、團結の力を强くし、始めて行使する公民權を有効にしたいものだと思ひますが、それは先づ岩村町の如き新進の氣に滿ちた統一ある婦人會が率先されるであらうように考へられます。

もう一度繰りかへします。進歩は運動です。運動は熱から生じます。そして、熱は團結から生じます。

本誌定價表（臨時）

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和三年十月廿三日印刷納本
昭和三年十一月一日發行
東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN